

この4年間に都島区では、

安全・安心

道路整備

- 桜ノ宮アンダーパス 改修<27、28年度>
- 都島通り共同溝 補修<28、29年度>
- 高倉町ベルファ前 道路補修<28年度>
- 城北公園通り 道路補修<30年度>
- 高倉歩道橋 撤去<30年度> など



歩道橋
撤去後
(31年2月)



浸水対策

- 中野町幹線<27～29年度>
- 区内の側溝などの”点の対策” 8地区
- ネットワーク化などの”面の対策” 6地区<26～29年度>

福祉施策

高齢者対策

- 特別養護老人ホーム 新規開設1箇所<30年度>

子育て

- 保育所整備 待機児童ゼロ<30年度>



教育施設

学校整備

- 中野小学校 改築<30～32年度>
- 淀川中学校 改築<30～32年度>
- 都島中学校 改築<29～31年度>
- 友淵小学校 増築<28～30年度> など



中学校給食

- 31年度秋に全校完了

などの区民生活に直接影響のある事業が実施されました。

大阪市会自民党・市民クラブ政調会長として

自民党本部において、府連所属自民党議員に対して、**大阪市の重点課題**である

- 児童、生徒の急増対策にかかる国庫負担制度の拡充
- 学校施設の老朽化対策への財政措置
- 下水道施設の改築にかかる補助制度の継続
- 治水、浸水対策の推進
- 廃止した焼却工場の解体にかかる財政支援
- 中央卸売市場の施設整備(南港市場)

などの予算要望をいたしました。

また、昨年には、自民党の岸田政調会長が来阪の際にも、自民党・市民クラブ大阪市会議員団として黒田市会議員団幹事長とともに大都市制度の矛盾点や学校施設に関する予算要望を行い、要望書を手渡しました。



>>>>>

OSAKA CITY COUNCIL REPORT

<<<<<

大阪市会市政報告

vol.03

発行日：
平成31年(2019年)2月24日

【編集・発行】大阪市会議員 荒木はじめ 〒534-0021 大阪市都島区都島本通3-27-9 ミカミビル1F TEL:06-6978-4056

市民目線の市政改革を推進します

大阪市会議員 元都島区長

あらき

荒木 はじめ

自民党・市民クラブ 市会議員団 政調会長
民生保健委員会委員・市政改革特別委員会委員



プロフィール

住 所	大阪市都島区友淵町
生年月日	昭和29年 11月生
最終学歴	大阪市立大学 卒業
職 歴	大阪市職員 市長室等の勤務を経て 第24代都島区長などを務めた
経 歴	平成27年 4月 大阪市会議員 当選 平成27年 5月 財政総務委員会副委員長 市会運営委員 6月 市政改革特別委員～
	平成28年 5月 都市経済委員会委員長
	平成29年 5月 教育こども委員会委員

都島に住んで35年余りとなりました。
この間、都島区長として勤務し、都島区の発展と地域の課題をつぶさに見てまいりました。
『大切に大好きな私たちのまち都島』のために、永年大阪市職員としての行政経験を最大限活かし、これからも市会議員として市民目線の市政改革につなげ、地域の課題解決のために取り組みます。

市政運営にあたって

大阪市では今なお府市再編や経営形態の変更、統合案件など、議会での議論が活かされず、市民の皆様への理解も得ないまま、拙速に政策が進められています。その結果、様々な課題が生まれています。これまで議会でも真摯に議論し、附帯決議を付された住吉市民病院の廃止に関しても、附帯決議が履行されずに進んでいます。このような急激な改革は必ず大きな歪みを生み、そのしわ寄せは市民の皆様に影響を与えます。

我が会派はこれまでも市民生活の安全・安心を最優先に考え、課題に対して常に真摯な態度で正々堂々と議論を尽くしてまいりました。この姿勢はこれからも一貫してまいります。

市会質疑に関して

平成27年4月に大阪市議員に当選以降、平成28年3月には自民党の市会議員団を代表して市長に対して「代表質問」を行うなど、大阪市職員・都島区長としての経験を議会の場で活かしてまいりました。また、市会本会議場でも会派を代表して何度も討論を行い、地下鉄・バスの民営化議論の際には、様々な観点から市長に対して質疑を行いました。

これまでの委員会質疑では、大阪市の災害対策や浸水対策、待機児童問題をはじめとした子育て対策や中学校給食・学校校舎整備などの教育問題、地域のコミュニティーのあり方や地域集会所に対する補助制度など、市民生活に直接かかわる課題に対して約160回にわたり各委員会で質疑をしてまいりました。

民生保健委員会 質疑より 病院機構の中期目標

昨年12月5日に開催された民生保健委員会で、大阪市民病院機構に係る中期目標のなかに大阪府と大阪市の病院を「統合について検討する」という内容の議案が提出されました。議論する場である大阪府市医療戦略会議は平成26年に廃止されており、この医療戦略会議では、府下の公立病院のあり方については検討されていませんでした。何故、今の時期に大阪府と大阪市の病院を統合に向けて検討されるのか理解できない旨の質問をいたしました。

公立病院には様々な課題があるなか、広域医療と地域医療のあり方の検討も十分にされずに、大阪府と大阪市の病院が統合に向けて検討されるということは、将来都島区の大阪市立総合医療センターがどのようなものかわかりません。

自民党は、大阪市立総合医療センターが大阪市民・都島区民の皆様から遠い存在になることに反対しました。今年2月の議会では、この議案は「統合について検討する」という項目を削除し、修正されたものが市長から再提出されました。



笑顔のあふれるまち 都島へ

地域の皆様の声に耳を傾け、
都島のまちづくりを進めます

大阪市議員 元都島区長

荒木 はじめ



我々の先達の力により築き上げられたまち大阪市。
独立進取の気風にあふれた活気のあるまち大阪市。
だからこそ、大阪府は政令指定都市としての財源と権限を活かして自治を進めるべきです。

交通事業の民営化について

前・現市長は当初、大阪市交通局の「完全民営化」をめざしていました。大阪市民の財産である「地下鉄・バス」を売却して現金にして他の施策に充てるというものでした。それでは都市政策の要である交通政策を担うことはできません。

私たちは、都市政策の観点から「バス事業と地下鉄事業の一体化」、「安全・安心対策の充実」、「交通政策部門の設置」、「8号線実現に向けたBRTの社会実験」などの12項目の確認事項を提出し、市長の方針を変えさせ公的関与を残した「市民が株主」であることを確認しました。平成28年10月の公営決算の特別委員会の場で「交通事業の民営化」に関して質疑し、“市民が100%株主の株式会社化”であることが確認できたので民営化がスタートしました。

自民党の提言がなければ、バス事業は複数の民間企業に売却され、路線別にバラバラに分割譲渡されていたかもしれません。そうなければ市民の大切な足は失われたかもしれません。

住吉市民病院問題

大阪市立住吉市民病院は当初現地建替え計画で進んでいたものが、“二重行政”だとされ、府市統合本部の方針として、府立急性期医療センターに統合されることとなりました。その跡地には地域の小児・周産期医療を確保するために民間病院を誘致するとの方針で進んでいたものの誘致計画は失敗しました。そのため市長は突如、大阪市の高齢者施設である弘済院を移転させると表明しました。当初の計画では、現地建替えよりも統合して建設すれば、安く建設できると説明されていたものが、いつの間にか倍以上の83億円にもなっていました。高齢者用の医療機関は充実するものの、地域が必要としていた小児・周産期の病院は開設されません。



大都市制度について
この間議論されていた大都市制度（都構想）については、既に『住民投票』が実施され、市民の皆様様の判断が示されています。100年以上の歴史と伝統のまち大阪市。

市政相談所

市政に関することは
お気軽にご相談ください。



大阪市議員 **荒木はじめ事務所**

〒534-0021 大阪市都島区都島本通3-27-9

ミカビル1F

電話 (06) 6978-4056

FAX (06) 6978-4057

大切に大好きな私たちのまち都島 そして大阪市